

食品のおいしさと安心を科学する技術情報誌

月刊 フードケミカル

Topics

特集1

各社のSDGs関連の製品・取り組み

アルギン酸製造で持続可能性に貢献

ジャパンSDGsアワードに選出

キミカ

キミカはアルギン酸の世界的パイオニアとして、海洋環境を保全し、持続可能な社会の実現に貢献している。アルギン酸生産事業を通じて、SDGsの主に以下4つの目標達成に向けてさまざまな活動を進めている。

1. 貧困をなくそう

海藻は需給バランスの変化で価格が大きく上下するため、チリ漁民の収入は安定しなかった。キミカは継続的・安定的に漁民から海藻を買い取ることで、地元の収入を安定させ、生活水準を飛躍的に向上させた。

7. エネルギーをみんなにそしてクリーンに

アルギン酸を分離する工程には電力もろ材も使用しない、沈降分離法を用いている。環境不可軽減のために、千葉工場の屋根に888枚の太陽光パネルを敷き詰め、チリ工場ではぶどうの栽培を行っている。

12. つくる責任つかう責任

資源の有効活用のために、生きた海藻を刈り取るのではなく、本来腐敗して二酸化炭素に戻る漂着海藻を使用してアルギン酸を製造している。さらに残渣は飼料や土壌改良剤に有効利用している。

14. 海の豊かさを守ろう

チリ海藻産業協会の一員として、海洋資源に関するさまざまな調査に協力し、乱獲を防ぐ活動に取り組んでいる。またチリ沿岸への海藻養殖も支援している。

同社はこうした本業のものづくりを通じて持続可能な社会の実現に貢献している点が評価され、第4回ジャパンSDGsアワードにお

いて、特別賞「SDGsパートナーシップ賞」を受賞した。12月21日に菅義偉内閣総理大臣により表彰状が授与され、外務省ウェブサイトを受賞者が掲載された。今回の受賞者のなかで食品メーカーはキミカのみであった。